

- 問1 沖縄県に存在した、独自の文化を築き上げた王国を何という？
- 問2 周囲を陸地に囲まれ、海水が入れ替わりにくいいため、環境保全が強く求められる水域を何という？
- 問3 九州南部に広がる、水はけが良すぎて稲作には不向きな火山灰質の土地で行われている農業を何という？
- 問4 桜島が位置している、鹿児島県の湾を何という？
- 問5 大分県で活用されている、地下の熱を利用して電気を作る発電方法を何という？
- 問6 阿蘇山に見られるような、火山の活動によってできた巨大な凹地を何という？
- 問7 熊本県で、豊富な地下水を活用して工場が多く集まっている、集積回路などの電子部品を何という？
- 問8 大分県の山間部で見られる、急な斜面を切り開いて作られた階段状の田んぼを何という？
- 問9 有明海の豊かな栄養分と潮位差を利用して行われる、日本一の生産量を誇る養殖産業を何という？
- 問10 筑紫平野のように温暖な気候を生かして、同一の耕地で一年に二種類の作物を栽培することを何という？
- 問11 宮崎県などで盛んな、温かい気候を利用して、季節を早めて作物を育てる栽培方法を何という？
- 問12 筑紫平野などで見られる、水不足を防ぐために網の目状に掘られた水路網を何という？
- 問13 江戸時代、幕府が長崎に設けた貿易の窓口を何という？
- 問14 崩れやすく浸食されやすい性質を持つシラス台地において、大雨の際に発生する恐れがある災害を何という？
- 問15 熊本県で栽培が盛んな、畳の材料として使われる植物を何という？
- 問16 かつて九州地方において、アジアとの外交や防衛の拠点として設置された官庁を何という？
- 問17 九州地方において、経済や交通の中心地として発展しており、政令指定都市にも指定されている福岡県の県庁所在地を何という？
- 問18 阿蘇山周辺に見られる、火山活動によってつくられた土壌を何という？
- 問19 南九州の広範囲に及ぶシラス台地を形成した、自然の大きな現象を何という？
- 問20 火山灰が堆積してできた、南九州に広がる水はけの良い台地を何という？
- 問21 潮の満ち引きの差が非常に大きく、干潮時に広大な砂泥の平原が現れる地形を何という？

## 答え合わせ・解説

|     |             |   |
|-----|-------------|---|
| 問1  | 答え<br>琉球王国  | 琉球王国は、中国（明・清）や東南アジア、日本との間で活発な中継貿易を行い、繁栄しました。このため、中国文化や日本文化の影響を受けつつも、独自の建築様式や芸術、音楽、食文化を発展させました。首里城はその象徴的な存在です。                           |
| 問2  | 答え<br>閉鎖性水域 | このような場所を閉鎖性水域と呼びます。河川から流れ込む生活排水や肥料成分などが蓄積しやすく、赤潮の発生や水質の悪化が起こりやすい特徴があります。そのため、環境を守るためには周辺自治体や住民が協力して汚染を減らす努力が不可欠です。                      |
| 問3  | 答え<br>畑作    | この地域では、その土地の性質を活かして、水不足の影響を受けにくいサツマイモ、ダイコン、お茶などの栽培が盛んに行われています。これを総称して畑作と呼びます。   |
| 問4  | 答え<br>鹿児島湾  | 鹿児島湾は、火山活動が活発な桜島を中央に抱え、北側にはカルデラ地形を持つ独特の湾です。海の中にも火山の根があるため、独特の海洋環境が形作られています。地質学的には「錦江湾」とも呼ばれ、古くから海上交通の拠点として活用されてきました。                    |
| 問5  | 答え<br>地熱発電  | 地熱発電は、地下から取り出した蒸気のカでタービンを回して発電する仕組みです。環境に優しく、天候に左右されずに安定して発電できる再生可能エネルギーとして注目されています。  |
| 問6  | 答え<br>カルデラ  | 阿蘇山は、この過程で形成された世界最大級のカルデラを持つ火山です。カルデラ内には平坦な土地が広がっており、阿蘇市などが位置しています。この巨大な窪みは、長い年月をかけて雨水が溜まったり、火山活動で地形が変化したりすることで今の姿になりました。               |
| 問7  | 答え<br>半導体   | 半導体は、現代のスマートフォンや自動車、コンピュータなどの家電製品に欠かせない電子部品です。熊本県には大手メーカーの工場や関連施設が集中しており、シリコンアイランドと呼ばれる九州の中でも特に重要な拠点となっています。                            |
| 問8  | 答え<br>棚田    | 棚田は、階段状に配置された水田であり、雨水を貯めて地下水を守ったり、土砂崩れを防いだりする多面的な機能を持っています。大分県の山間部では、この棚田を活用して米作りが行われています。  |
| 問9  | 答え<br>海苔    | この独特な環境を利用して、支柱を立てて網を張る「支柱式養殖」などが盛んに行われており、海苔の生産量は全国でもトップクラスを誇ります。  |
| 問10 | 答え<br>二毛作   | 二毛作とは、主に夏から秋にかけて水稲（お米）を栽培し、その後の冬から春にかけて小麦や大麦などを栽培する農法のことです。土地を一年中有効に利用することで、農家の収益向上や食糧供給の安定に大きく寄与してきました。                                |
| 問11 | 答え<br>促成栽培  | 促成栽培は、ビニールハウスなどを利用して保温し、作物の生育を早めて通常よりも早い時期に出荷する技術です。ピーマンやキュウリなどの野菜生産において非常に大きな成果を上げています。  |
| 問12 | 答え<br>クリーク  | クリークは、田んぼの間に網の目状に掘られた水路のことです。貯水池としての機能を持つだけでなく、周辺の農地へ水を運んだり、排水を行ったりする重要な農業用水路として利用されてきました。  |
| 問13 | 答え<br>出島    | 江戸時代の長崎港内に作られた扇形の人工島です。後にオランダ商館が置かれ、鎖国中でありながらオランダとの貿易の窓口として唯一機能しました。西洋の医学や科学技術などがここから日本へ伝えられ、近代化のきっかけとなりました。                            |
| 問14 | 答え<br>土砂災害  | そのため、特に梅雨の時期や台風の通過時に激しい雨が降ると、地盤が緩んで崖崩れや土石流といった土砂災害が引き起こされます。このため、住民の命を守るための避難計画や、治山・治水対策が非常に重要視されています。                                  |
| 問15 | 答え<br>い草    | い草は、畳の表面を覆うゴザの部分に使用される植物です。熊本県はい草の国内生産シェアの大部分を占めており、特に八代地方での栽培が有名です。  |
| 問16 | 答え<br>太宰府   | 現在の福岡県筑紫野市付近に置かれた官庁で、西海道（九州）を統括する行政機能と、海外からの使節を迎える外交機能、そして九州の防衛機能を持っていました。特に「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれ、非常に重要な役割を果たしました。                        |
| 問17 | 答え<br>福岡市   | 政令指定都市に指定されており、九州の政治・経済・文化の中心的な役割を担っています。特に福岡空港が市街地から近く、交通の利便性が非常に高い点や、アジア諸国に近い立地からビジネスの拠点として重要視されています。                                 |
| 問18 | 答え<br>火山灰   | これらは火山灰と呼ばれ、堆積すると土壌となります。阿蘇山周辺の広大な土地には、この火山灰が厚く堆積した層が広がっています。火山灰土壌は水はけが非常に良いという特徴がありますが、一方で養分を保持しにくいいため、古くは肥料を工夫するなどの努力が必要でした。          |
| 問19 | 答え<br>火山活動  | 南九州のシラス台地は、数十万年前から数万年前にかけて発生した、極めて大規模な火山活動によってもたらされました。その際、地下のマグマが噴き出し、火砕流として広い範囲を覆い尽くしました。この火砕流の噴出物が固まり、長い期間の浸食を経て、現在の特徴的な台地地形が完成しました。 |
| 問20 | 答え<br>シラス台地 | この火砕流が堆積してきた地層は「シラス」と呼ばれ、これによって形成された台地がシラス台地です。シラスは粒子が粗く水はけが良すぎるため、田んぼを作ってもすぐに水が抜けてしまうという性質があり、長年農業に悩まされてきました。                          |
| 問21 | 答え<br>干潟    | このようにして現れる地形を干潟と呼びます。干潟は河川から運ばれてくる有機物が多く含まれるため、非常に豊かな栄養分があります。そのため、魚介類や貝類、渡り鳥など多くの生物にとって重要な生息・繁殖場所となっています。                              |